

1. 調査報告概要表

作成日 平成 21年 10 月 25 日

【評価実施概要】

事業所番号	3470501770
法人名	医療法人社団豊和会 豊田内科胃腸科
事業所名	グループホーム TOYO
所在地	広島県呉市伏原1丁目8番13号 (電話) 0823-21-0333
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4丁目46-9
訪問調査日	平成21年10月21日

【情報提供票より】21年9月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 6 月 1 日
ユニット数	2 ユニット
職員数	11人
利用定員数計	18 人
常勤	10 人
非常勤	1 人
常勤換算	10.3

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	4 階建ての 2 階 ~ 3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	52,500 円	その他の経費(月額)	25,200 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(409500 円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1575 円		

(4) 利用者の概要(9月5日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	14 名
要介護1	5 名	要介護2	10 名	
要介護3	2 名	要介護4	1 名	
要介護5	名	要支援2	名	
年齢	平均 85.1 歳	最低	64 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	豊田内科胃腸科
---------	---------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームTOYOは永年地域医療を担っている診療所に併設されたホームです。ホーム管理者は診療所の看護師長が兼務され、利用者の安全安心と共に健康管理面でも家族の信頼が得られています。南向きの広い窓よりの採光も明るく、ベランダには利用者が手入れされている草花がいきいきと咲き、居室では職員と談笑している利用者の明るい日常の様子が見受けられました。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回よりの課題である同業他事業者との交流については、グループホーム協会への入会をされて一歩前進され、今後職員間の交流の機会を作られることが期待される。地域との交流についても、参加される民生委員の地域範囲を広げる意向を持たれている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員は評価項目について前回の評価の問題点についてまでも話し合い、真剣に討議され記入が行われている。今回の評価員との意見交換も項目毎に詳細に行われサービスの質の向上に前向きに取り組まれている。
重点項目	運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は地域の各方面よりの協力的な参加者があり、日常生活の状況を観てもらい、認知症への知識を啓蒙するプリント等も配布して理解をもらいつつ、意見を求めている。今後は災害対策についても地域協力の議題とされるよう期待されます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	「ホーム便り」で個人別に日常生活の状況を伝えると共にかかり付け医からの健康状態について付記されて家族より信頼を得ている。管理者、職員は家族との電話での連絡等は日常的に行って個人別に対応している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	ホームの立地上近隣との日常的な交流は困難な点もあるが、地域に密着している母体診療所と共に地域よりの協力体制を得ている。近隣の保育園との交流関係が始まり外出途中に立ち寄れる場所となり喜ばれている。今後は近隣の小学校にも交流を求めてゆきたいとの意向である。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「尊厳遵守 日々是新」と理念が掲げられ一人ひとりのすべての言動を肯定して支援するという真意が込められている		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の唱和のみではマンネリになりやすいとの意見があり、理念の実質的な実践で支援する事を全員で確認し合っている		定期的に行われるミーティング等節目を作られて全員で唱和されることで再確認の機会とされたい
理念の					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	母体診療所が開設以来地域に根ざした医療機関である為、そのつながりで知名度は高く、地域に受け入れられている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者と職員は前回の評価での問題点を検討され、近隣保育園との交流等を運営に生かされている		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は居室が見渡せる部屋で行われ、実情を観てもらいながら進行し、理解を得ながら意見を求めサービスの向上に役立たせている。又認知症を理解していただくプリントを配布して啓蒙をしている		

グループホーム TOYO

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	空き室の状況等も地域包括センターや市介護保険課へ連絡し、問い合わせを受けている。介護保険制度の疑問点等は其の都度電話で問い合わせをしている		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2か月に1回ホーム便りで生活の状況と、掛かり付け医よりの健康管理状況を付記されて個々の家族宛てに送られている		敬老会等折々イベントの様子など写真入りで特別添付されることも一案と思われる
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者が母体診療所の看護師長を兼務され、殆どの利用者家族より親しみと信頼を得ており、意見交換は親密にされている		キーパーソンが遠隔地に居住されたり、遠縁者等で訪問者の少ない利用者に配慮されている現状がある事は理解されるが、今後の高齢化に向けてアプローチを密にされることが望まれる
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は少ないので、異動でのダメージは開設以来皆無である。職員はローテーションで2階3階に配置され利用者全員と顔なじみであり、1～2名の異動には影響されていない		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は順番制で外部の研修に参加し内容は報告書の回覧等で全員で共有されている。市主催の研修には進んで申し込みをしているが、時々定員漏れで参加できないことがある。ホーム内でも新聞の切り抜き等をテーマにミーティングで検討しサービスの質の向上に役立たせている		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	最近市内のグループホーム協会に加盟したので交流を深める機会を是非作りたい		職員より同業他施設の職員との交流や学びの場を望まれている

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>現状は病院からの紹介や家族よりの緊急の申し入れで入居される方が殆どで、アセスメントを十分にして家族と相談しつつ、管理者、職員のチームワークで支援し馴染んでもらっている</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ホームの必需品やおやつの買い出しを外出と散歩を兼ねて職員同伴で行っている。ふきんたたみ、食器洗いは進んで担当される利用者があり、絵画の得意な方には入居者や来訪者の似顔絵を描いてもらい双方の喜びとなっている</p>		<p>描かれる絵画の表現に、描かれる方の心模様が現れ、その日の支援方法に役立っている</p>
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>「説得ではなく、納得の介護」を管理者、職員は共有のモットーとし家族的な親しみを持って自然体で利用者へ接し、声かけがされている光景があった</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月リーダーを職員の交代制で決め、主になってケアマネージャーと共にカンファレンスを行い介護計画を作成している</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に見直しをしている。又変化が生じる度に家族を交えたカンファレンスを行い見直した計画を作成している</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本年よりホームの介護士1名がOTの資格を取り、以前より一層リハビリの支援が出来るようになった。4階のリハビリテーションへ可能な限り参加してもらい、体力低下の防止、健康維持に配慮している		母体診療所の健康管理の支援も利用者家族より信頼を得ている
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	殆どの利用者のかかりつけ医は母体診療所であり、施設管理者は看護師長を兼務されているので、日常的に適切な支援がされている		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所当初にホームでの看取りは行わない旨家族に伝えられているが、かかりつけ医並びに他の医療機関との連携は万全に行う方針を説明し、現状では実行している		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
て					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	居室に洗面台、トイレが設置されてプライバシーが確保され、トイレの失敗などが他の入居者に見えない。職員の利用者への声かけは丁寧であった。個人情報関係の書類は保管庫で万全な管理がされている		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ベランダの草花を育てる方、食器洗いを自分の仕事として行う方、絵を描く事で周りとの和をつくられている方等個人の自主的な行動を職員は有効に引き出して、手助けする方法で支援が続けられている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常の副食は管理栄養士の計画で病院の厨房で用意されているが、ホームに合わない時はホーム独自で調理することもある、間隔を置いて、外食やお好み、仕出し料理を取る事で変化をつけ喜ばれている		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は一人ひとりの希望を大切にしながら支援し、個人記録を基に回数やタイミングをつかんで支援している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は一人ひとりの生活歴を把握し、絵画、ぬり絵、習字等を日常生活に取り入れる声かけを行っている。外食を楽しみにしている利用者には個人的にも応じている		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	居室で徘徊される利用者には職員同伴で買い物を兼ねた散歩に誘ったり、散歩途上に保育園に立ち寄って幼児と交流する事で穏やかになれることもある		
って					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	階段へのドアは日中は開放しているが、エレベーターや玄関は施錠されている、施設が交通量の多い市街地にあり止むを得ない事情は家族に了解されていると説明があった		今後も利用者の拘束感を除くための多様な支援をされることが望まれます
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	職員間でホーム独自で消防訓練を行っている		災害時の避難対策は施設にとっても重要項目であり、職員は利用者の誘導等の方法を身につけられる訓練が求められます。運営推進会議にも議題とされて、地域での協力体制の取り決めをされている例もあります。消防署の協力やアドバイスをもとに対策の拡充が望まれます

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は管理表が作られ体重の変化等も考慮に入れ、個人的に勤めることもある、自室の冷蔵庫で自由に摂られる利用者もある。10時と3時のおやつ時間を水分補給の主な時間としている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には南側に面した大きな窓があり採光が十分で明るい居室になっている。共有で寛ぐソファの前のテーブルには週刊誌が無造作に置かれて、家庭的な居住感が感じられた。ベランダに置かれている外用テーブルセットは利用者と職員の語らいの場となって解放感に役立っている		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個人居室には自作の絵や作品、生け花が飾られたり、入居前に使用されていたチェストや椅子小物入れ等が配置され、生活感が窺えた。冷蔵庫を持ち込まれている利用者も少数あり食生活に潤いを持たれている		